

栃木県からのお知らせです **レジ袋削減のため「レジ袋無料配布の中止」が行われます**

レジ袋削減の取組を、環境にやさしいライフスタイルへと変えるきっかけとし、県民総ぐるみの地球温暖化対策へとつなげていくため、事業者、県、市町、消費者団体との協定により、次の店舗において平成22年2月からレジ袋の無料配布が中止されます。県民の皆様には、ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

【取組協力店舗】（50音順）

エコス カスミ さかいりショッパーズ 塩原屋 シティマーケットうおまつ シンユーストア ダイユー
とちぎコープ 栃木県職員生活協同組合 パワーmarkt プラッツおおひら 三樹屋(3店舗) 一部の店舗を除きます)

Q レジ袋を削減するとどれくらいCO₂が減らせるの？

A レジ袋の製造、加工、焼却により排出されるCO₂の量は、1枚当たり約47グラムとされています。

栃木県内のレジ袋消費量は年間約4億8千万枚ですので、これを8割（約3億8千万枚）

削減したとすると、県全体で年間約1万8千トンのCO₂を削減できることになります。

これは、3,600ヘクタールの50年生スギ人工林が1年間に吸収するCO₂量に相当します。



マイ・バッグ使用のマナー

お買い物の最中は折りたたんでおきましょう。

買うものは、お店に備え付けの買い物かごに入れましょう。

レジを渡ってからマイ・バッグを使いましょう。

利用者みんなの協力で清潔なごみステーションに!

ごみステーションは、利用者全員の協力により、清潔に保たれています。

一部のルールを守らない方のために、ご苦労されている方がいる事もお忘れなく! ごみ出しの際は、ルールを必ず守ってください。

行政カレンダーで回収日をご確認ください。

- ・回収日を間違えると回収されず、ステーションに残ります。
- ・祝祭日等の関係で回収曜日が変更されている月がありますので注意しましょう。(南河内・国分寺地区)

決められた分別で出しましょう。

- ・分別がされていないと回収されず、ステーションに残ります。行政カレンダーの「家庭ごみの正しい分け方・出し方」、もしくは「ごみのルールブック」を確認しましょう。

地域で決められたルールを守りましょう。

- ・ステーション利用者で決めたルールがあれば、守りましょう。
- ・決められた日の朝8時までに出しましょう。種類ごとに回収しますので、ごみステーションに出されたものが残っていても、収集が終わっているものがあります。後出しに注意しましょう!



自分が出したごみが回収されたか確認しましょう。

- ・特別なごみ、変わったごみを出したときは、回収されたか確認しましょう。
- ・前日に自分が出したごみが、翌日残っていたら持ち帰り出し直しましょう。

出し方・分け方が分からない時は、行政カレンダーの「家庭ごみの正しい分け方・出し方」、もしくは「ごみのルールブック」をよく確認しましょう。

- ・不安な場合や分からない場合は、市役所環境課に確認してから出しましょう。